

# 会 報

2017～2018 R I 第2720地区



人吉ロータリークラブ

# The Hitoyoshi Rotary



通 算 2 9 6 1 回  
2017年11月17日  
第 1 7 回 例 会

## ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 R I 会長  
イアン H.S. ライズリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ  
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

### 本日の進行

- P 1～2 会長の時間
- P 2 幹事報告、出席率報告、会務報告  
寄付の申し出
- P 3～4 11月奨学金の授与、チャレンジカップ報告  
Rの友紹介
- P 4～5 R財団月間卓話 和田委員長
- P 6 ココ・R財・米山・人吉奨学寄付カード  
会員増強部門・新進気鋭会員セミナー報告



点 鐘 井手富浩 会長

歌 唱 ッガリダー 山田仁法SAA委員



国 歌 「君が代」  
四つのテスト唱和  
R S 「我等の生業」

司会・進行 新堀純子 プログラム委員長

来訪者紹介 井手富浩 会長

米山奨学生 王 辰寧 さん

### 会長の時間

会長 井手富浩



皆様こんにちは。まずは、今週水曜日の故増田 力先生の「お別れの会」には、多くの会員の皆様に御賛列を賜りありがとうございました。ロータリー歴49年7カ月の現役ロータリアンとして当クラブの発展に御尽力を頂きました。残念ではございますが、御冥福を御祈り申し上げます。

また、12日（日）には、第三回目となります、人吉RCチャレンジカップ陸上競技大会を開催致しました。後程 下田委員長より詳しい御報告があると思いますが、主催の当クラブ、共催の熊本第6グループ各ロータリークラブ、協力して頂きました 郡市陸上協会、法人会、人吉高校、球磨工業高校の生徒さん達、そして、郡市の各企業より多くの皆様が、ボランティアスタッフとして参加して頂き、43名の出場選手の“跳び、”投げ、”走る”を全員でサポートし、大会にかかわった全ての方が笑顔で終える事ができました。ありがとうございました。

また、11日（土）には、阿蘇RC50周年が開催されました。5月の当クラブの60周年には阿蘇クラブより、5名の登録、出席を頂きましたので、今回答礼として、6名で参加してまいりました。式典、記念講演、祝賀会と続きましたが、式典の記念事業として、阿蘇消防本部へのドローン一式寄贈は、近年自然災害が多発する同地区への時宜にかなったものだと思います。次に、作家の津留 今朝寿氏による「沙也可紀行・阿蘇一族海を渡る」と題した講演では、阿蘇一族（現在92代目）の歴史を御自身の足で、国内外で調査し、御被震されましたが、その熱くテンポの良い話は、大変興味深く、できれば録音して、何度

も聞きたいものでした。祝賀会のオープンセレモニーでは、波野横堀岩戸神楽保存会による神楽で「スサノオノミコトとヤマタノオロチ」の段でありましたが、日本の神話を大変おもしろく表現されており、楽しませて頂きました。10時半点鐘15時半閉会のメリハリのきいた、すばらしい周年行事でした。

今年度はこの後、八代RC60周年(3/24)熊本城東RC30周年(3/31)多良木RC50周年(4/14)熊本中央RC30周年(5/26)熊本南RC50周年(6/16)と5つの周年行事があります。当クラブ60周年にそれぞれ10名を超える参加を頂いており、一人でも多くの会員の皆様方と共に答礼に伺いたいと思っております。宜しくお申し上げます。

さて、今月11月は、ロータリー財団月間です。後程、ロータリー財団、和田委員長より卓話頂きますが、財団寄付の内、毎年皆様に御願しております年次基金は、最大で75%が、地区補助金、グローバル補助金となっており、クラブに還元されます。先に紹介しましたチャレンジカップも地区補助金を活用しておりますが、皆様方の寄付が、世界中の地域にクラブの公共イメージの向上と共に活用される好循環をもたらすシステムとなっております。

また、寄付額が\$1,000を超えるとポール・ハリス・フェローに認証され、当クラブでは、現在64中31名が認証されており、これまでの寄付総額は\$280,000を超えております。今後共、皆様方の御寄付とポール・ハリス・フェロー認証会員が増える事を御願致します。

最後になりましたが、先週の例会でも申し上げ、皆様ご存知の様に、堤正博パスト会長が、秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章されました。御本人にはもとより、クラブにとってもたいへん名誉な事でございます。堤正博会員おめでとうございます。

来年2月初旬に盛大な祝賀会が計画されておりますが、皆様で御祝い致したいと思います。これで会長の時間を終わります。ありがとうございました。

## 幹事報告

幹事 石蔵尚之



### (連絡事項)

- ・人吉市の新年名刺交換会のご案内が届きましたので配布いたしております。来年1月9日(火)午後6時半から鍋屋本館で。会費は5千円です。申し込み締め切りは12月12日となっております。当クラブからお申し込みをされる方は事務局までお申し出ください。
- ・地区より職業奉仕第2回セミナーのご案内が

届いております。熊本会場は12月2日午後1時より県民交流会館パレア。締め切りが間近ですので希望される方はご記入をお願いします。→回覧

- ・来年の人吉お城祭りの実行委員会開催のお知らせが届きました。→会長へ
- ・米山記念奨学会の月信が届きました。→回覧
- ・11月開催されました人吉オープンゴルフ大会の協賛のお礼が届きました。→掲示
- ・熊本南RC、熊本西RCより例会変更と中止のお知らせが届きました。→掲示

## 出席率報告

委員長 原田知一郎

会 員 数	64名	<b>本日の出席率</b>	
出 席 免 除	2名	<b>74.19%</b>	
欠 席 者 数	16名	1 1 / 3 例 会	休 会
出 席 者 数	46名	補 填 数	名
免除会員出席者数	0名	修 正 出 席 率	%

\*届け出欠席 宮崎・浅野・中川・友永・岩井・加登住・中村  
大賀・堀川・丸尾・尾上・青木・有村・淵田・板井・北  
出席免除会員(b) 愛甲, 釜田

## 会務報告

【ローターアクト委員会】 委員 水野虎彦  
人吉RAC11月第2例会(場所移動) ご案内

日 時：11月24日(金) 19:30~20:30

会 場：山江村 山田小学校体育館

内 容：ポール体操例会(山崎会員担当)

前日が祝日のため例会日に変更になっております。ポール体操は道具を使いながらストレッチをするものです。準備物はありません。動きやすい服装でご参加ください。

## ◀ 寄付の申し出 ▶

堤正博会員より、秋の叙勲『旭日小綬章』受章を記念して、R財団、米山記念奨学会、人吉RC奨学基金へご寄付がありました。





王辰寧さん

皆様こんにちは、先月は人吉ローターアクトクラブの例会に参加をさせていただきありがとうございました。新聞記事まで載せていただきありがとうございます。就職活動と学業の報告ですが、まず、来週、故郷大連に帰り地元大学で就職面接を受けます。それから来月は試験もありますので引き続き頑張ります。

【社会奉仕委員会】 委員長 下田文仁

### 人吉RCチャレンジカップ陸上競技大会報告

11月12日に無事に大会を実施することができました。雨が降らなかったのがなによりでした。皆さんの思いが天に通じたのだと思います。今年で3回目になる大会です。これまでの2回、延岡会員の頭の中だけに実施計画のすべてが詰まっているというお話も聞いていました。今回は、延岡会員の頭の中を展開して、できるだけ私も理解しようと努めました。そして、来年以降、誰が担当しても大会が実施できるようにしたいと思いながら準備を進めてきました。しかし、結果は、やはり延岡会員のネットワークや指示がないと難しいと感じました。

今年の選手としての参加者は41人でした。昨年が43人、一昨年が42人でしたからほぼ同じ人数です。41人の参加者のうち、昨年も参加した人は19人、3年連続で参加した人は12人です。案内を送ったのは約450人。球磨支援学校や多良木学園などの施設のほか、各小中学校の特別支援学級の子供たちにも一人ひとりに送っています。そのうち約1割が参加してくれていることとなります。これが、2割、80人の参加になったら対応できるだろうか？とも考えました。

ボランティアの参加について。人吉ローターの参加は24人。昨年とほぼ同数。人吉以外のローターの方の協力も22人で同数でした。ロータリアン以外の方のボランティアは92名でこちらもほぼ同数です。回数を重ねても、毎年たくさんの人いろいろな形で助けていただいております。感謝しています。

人吉ローターの中では、特に平田フクさんに頑張ってもらいました。皆さん一人一役お願いしていたところを、平田会員には3つの役割をお願いしてしまいました。受付、実況、表彰です。特に実況では、グラウンドを走り回ってもらいながら、選手たちにやさしい言葉をかけていただきました。

また、村田会員には、表彰状づくりや、BGMの選曲など、とても細やかな仕事を率先してやっていただきました。

水野会員は社会奉仕委員会でもないのに朝一番に来ていただいて、組合せがめちゃくちゃになっているテントを何回も倉庫から出し入れしてご苦労を掛けてしまいました。そのほか、多くの皆さんの協力のおかげで大会を成功させることができました。本当にありがとうございました。



【雑誌委員会】 紹介；加登住 亮会員

### ローターの友 11月号の紹介

11月はローター財団月間です。11月5～11日は世界インターアクト週間です。

横組み

### 3ページRI会長メッセージ「私たちの奉仕の成果である財団」

ポリオ撲滅への挑戦を可能にした財団はローターの奉仕の土台です。土台は見えにくいですが、財団があればこそその挑戦でした。

世界各地にあるローターは完全に地域社会に根差しています。必要などころに必要なだけ届けることができる。だから、ローター財団への寄付は最も効果的な成果が得られます。

### 13ページ「私たちの目標：ポリオのない世界」

1930～1950年代に猛威を振るったポリオ。世界的に1年に何十万件もあった発症例が、2017年ではわずか8件（7月末）になりました。ポリオウイルスに感染すると、まひをおこしたり、最悪、呼吸ができなくなり命に係わることもあります。しかし、まだ撲滅が宣言された訳ではありません。撲滅は3年間感染者なしで達成されます。ポリオ撲滅にローターは重要な役割を果たしてきました。これからも多くの機関とともに取り組んでいく必要があります。

縦組み

#### 4 ページ SPEECH「ロータリー財団奨学生、その後」

国立大学法人 宮崎大学長 池ノ上 克  
周産期医学をカリフォルニア大学で学んだ池ノ上さん、昭和40年代中盤に赤ちゃんが次々に亡くなっていく現状を打破しようと奨学生として渡米しました。最先端の医療を学び鹿児島に戻り活躍をされています。「山下さんちの五つ子ちゃん」の担当医でもあります。留学中に学んだことを続けることができたり、研究をしたりそれを糧にすることができているのは、まさに奨学生としてアメリカで経験したことが基盤となっているとのことでした。

#### 18 ページ FRIENDSHIP PLAZAより

「花嫁の恩師として参加」雲仙 原田 徹  
中国の地元での結婚式への招待状、こんな風に人間関係が深まるのはとても感動的で良いですね。

#### 22 ページ ROTARY 柳壇より

夢実現江戸の景観戻る橋  
東京日本橋東 井口 弘子

#### 32 ページ ROTARY AT WORKより

「郡山の民話」こども語り部講演 郡山東RC  
絵本の読み聞かせは乳幼児にとって欠かせないものですが、次の段階の語り部になる取り組みは、子どもたちをまた成長させるのではと感じました。世代を超えた交流ができるのも良いですね。

### 【ロータリー財団委員会】

ロータリー財団月間卓話

委員長 和田栄司



まずはじめに、井手会長から頂いたR財団月間の資料を読ませていただきます。

11月は「ロータリー財団月間」です。財団のこれまでの功績を振り返るだけでなく、現在の活動状況、今後の活動内容について思いをめぐらせるのに最適なときでもあります。

前ロータリー年度では、3億400万ドルの寄付（年次基金：1億4000万ドル、恒久基金：2800万ドル、ポリオプラス基金：1億800万ドル）がロータリー財団に寄せられました。このご寄付は、今日のロータリーの活動を支え、明日のロータリーを強化し、「世界でよいこと」をするために生かされています。財団はまた、494件の地区補助金、1,260件のグローバル補助金を承認し、これらをあわせた資金は1億1100万ドルに上りました。

ご存知の通り、ポリオ撲滅はロータリーとロータリー財団の最優先事項です。これまでになかった新しい支援が得られ、ポリオの発症数が史上最少となった今年は、ポリオ撲滅活動の中でも歴史的な1年となりました。アトランタ国際大会で発表された通り、ビル&メリンダ・ゲイツ財団はロータリーが集める資金に対し2倍の上乗せを継続して行います（上乗せ対象は年間5000万ドルまで3年間継続）。毎年5000万ドルの寄付を達成できれば、ゲイツ財団から1億ドルの上乗せが得られ、合計で実に1億5000万ドルの寄付となります。この上乗せが3年間継続するのです。さらに、アトランタ国際大会では各国政府や主要な寄付者から、合計で10億ドル以上のポリオ撲滅への寄付が約束されました。

アトランタ国際大会のおかげで2017-18年度を景気よくスタートすることができました。年度が始まってからも、ロータリアンはポリオ撲滅という私たちの約束を果たすために募金活動に奔走しているだけでなく、ポリオ撲滅の重要性を一般の人たちに訴え続けています。10月24日に行なわれた第5回世界ポリオデー特別イベントも大成功に終わりました。

このイベントは、シアトルのビル&メリンダ・ゲイツ財団本部で開催され、ライブ中継されました。実に149,000人がライブ中継を視聴し、この数はこれまでで最多です。イベントには、ディーン・ローズ副会長がロータリーを代表して参加。さらに、世界各地で3,428件の世界ポリオデーにちなんだイベントが開催されました。

2016年に野生型ポリオウイルスでまひとなった子どもは37人でしたが、2017年の今日現在、この数字は14人となっています。これはつまり、限りなく「ゼロ」に近づいていることを意味しています。

今こそポリオを撲滅するだけでなく、独立委員会により撲滅が認定されるまで、できることすべてを行う必要があることを忘れてはなりません。撲滅の認定には、最後に野生型ポリオウイルスが発見されてから3年を要します。これはつまり、この3年間の間に、子どもだけでなく、水の供給システムやその他の場所からポリオウイルスが全く発見されない状態を意味します。これが達成できてはじめて、ロータリーとロータリー財団による最も素晴らしい達成、ポリオの終焉を祝うことができるのです。

2017-18年度

国際ロータリー会長イアン・ライズリー

【財団月間に寄せて】 より

現在 2017年世界のポリオ罹患者数  
アフガニスタン 8      パキスタン 5  
ナイジェリア 0

財団の大きな目標であるポリオのない世界まで「あと少し あと少し」と言いますが、いつまでも終焉しません。

そのことについて興味深い記事を読ませて頂きます。

### ポリオ撲滅は果たして可能か

2680地区PDG 田中 毅

イスラム武装組織（イスラミック・ステート）のポリオ撲滅活動の妨害によってポリオ撲滅運動は危機に立たされています。

ロータリーがイニシアティブを取って、この運動があたかも最終段階に達したように宣伝していますが、世間からはロータリーのポリオ撲滅に対するの存在はほとんど無視され、WHO（世界保健機関）やビル・ゲイツや各国政府やユニセフや「世界ポリオ撲滅イニシアチブ（GPEI）」の名前はでてくるものの、ロータリーの口の字も出てこないのは非常に残念なことです。

しかしこれはロータリーが自己礼賛しているだけであって、世間から見たらロータリーの現実の活動はとるに足りないものであることを物語ることを猛省すべきかもしれません。

以下[2014年7月29日号のNEWSWEEKの記事をご紹介します。

手足の麻痺を引き起こしたり場合によっては命にも関わる感染症、ポリオ（小児麻痺）。この病気の予防・撲滅を目指す活動には、マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツらが年間10億ドル以上の資金を寄付している。

WHOによればこうした活動のかいあって、1988年以降ポリオの発生数は99%も減少した。にもかかわらず、世界には今もポリオが激増している地域がある。ナイジェリアとパキスタン、アフガニスタンのイスラム武装組織が支配する地域だ。

「ポリオワクチンの接種プログラムが襲撃の標的になっている」と、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団などの支援を受けてWHOやユニセフ（国連児童基金）などが展開する「世界ポリオ撲滅イニシアチブ（GPEI）」の報告書は指摘する。「最前線で活動していた25人以上のスタッフが、予防接種プログラムに関係したという理由で殺されている」

ナイジェリアでは、北部で勢力を伸ばしているイスラム武装組織ボコ・ハラムが、パキスタンやアフガニスタンではタリバンが、外国人の

医療関係者を欧米諸国のスパイではないかと疑って襲撃している。

過去には実際、医療支援がスパイ活動に利用された例があった。CIA（米中央情報局）は2011年、偽の予防接種プログラムを隠れみのに使って、国際テロ組織アルカイダの最高指導者ウサマ・ビンラディンの行方を突き止め、殺害に成功した。

そのせいで予防接種活動をめぐる状況はさらに悪化したと、メリーランド大学に本拠を置く研究機関「テロおよびテロ対策研究のための全米コンソーシアム」の研究者でボコ・ハラムに詳しいエイミー・ペートは言う。

「予防接種の関係者が直接狙われるようになった。

（予防接種関係の）組織は外国政府の手先だという彼らの主張の一部が正当化されてしまった」

GPEIによれば昨年以降、ナイジェリアで53例、パキスタンで93例のポリオの発症例が確認されている。WHOのマーガレット・チャン事務局長は5月、ポリオウイルスの感染が拡大しているとして「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を宣言した。

ボコ・ハラムは昨年2月に予防接種プログラムの関係者9人を殺害したほか、今年3月には3人を誘拐した。襲撃の背景には、外国人医療関係者への不信感に加え、欧米の科学や教育、医療がイスラムの教えに反するという考え方がある。

「ボコ・ハラムとパキスタンやアフガニスタンのタリバンは、イデオロギーや戦略も同じなら、もたらす危険も同じだ」と、ナイジェリア公民権会議のシェフ・サニ議長は英ガーディアン紙に語っている。

さらにWHOは、つい先日、シリアでポリオ感染を確認、中東で拡大の恐れがあると発表しました。

最後になりますが、ポリオは1950年から1960年に日本で大流行しました。一昨日行なわれた増田力先生お別れ会のお話の中に、ポリオ大流行の時期に小児科医として人吉で医療を始められ治療にあたられたというお話がありました。

1951年私の兄はポリオで亡くなりました。罹って1週間で亡くなったと聞いています。同じ時期に無事に全快した方もおられます。ポリオのない世界が実現できたなら本当にすばらしいと思います。どうか会員の皆様、R財団への寄付をお願いします。そしてポリオを完全になくそうではありませんか。

**【寄付カード】** ニコニコ箱委員会 山本知枝  
〈ニコニコ箱委員会〉

- ・堤正博会員 秋の叙勲で旭日小綬章をいただきました。これからも宜しく願います。
- ・鳥井会員 堤正博様、この度の秋の叙勲、誠にありがとうございます。今後共益々のご活躍をお祈りいたします。
- ・高山会員 堤正博さん、受章おめでとうございます。益々のご活躍を祈ります。
- ・外山会員 堤正博氏の叙勲、おめでとうございます。
- ・堤脩会員 堤正博パスト会長、旭日小綬章 受章おめでとうございます。
- ・伊久美会員 堤正博氏の叙勲受章おめでとうございます。日頃の活動が評価されましたこと心から祝意を表します。
- ・葉山会員 早朝例会の時、スマホが音を出しまして漆野会員からにらまれましたのでゴメンします。
- ・井手会長 王辰寧さん（モモちゃん）御来訪ありがとうございます。堤正博パスト会長「旭日小綬章」の御受章おめでとうございます。
- ・本田会員 堤正博会員のこの度の誉ある御受章誠にありがとうございます。今後共ご健康にご留意され、益々のご活躍をご祈念致します。また、11/5のキッチンカーでの炊き出しに参加していただいた多くのロータリアンの皆様に感謝致します。
- ・有馬会員 ○堤正博パスト会長、旭日小綬章の受章おめでとうございます。○王辰寧さん、ようこそお出で下さいました。学業頑張ってください。
- ・石蔵幹事 王さんのご来訪を歓迎いたします。堤パスト会長ご受章おめでとうございます。
- ・渡辺会員 早退します。

〈米山記念奨学委員会〉

- ・片岡会員 堤正博パスト会長、叙勲おめでとうございます。
- ・宮原会員 王さん、来週の面接試験頑張ってください。良い結果を期待しています。堤さん受章おめでとうございます。米山に多額の寄付ありがとうございます。
- ・葉山会員 秋の叙勲を受けられお目出とうございます。モモちゃんがお越しですので今日は米山奨学にカードを提出します。
- ・井手会長 ニコニコカードと同文
- ・石蔵幹事 ニコニコカードと同文

〈人吉RC奨学基金〉

- ・山田会員 堤正博パスト会長、叙勲おめでと

うございます。これからもお身体に気を付けられ、地域発展にご貢献願います。

- ・伊久美会員 ニコニコカードと同文
- ・片岡会員 米山カードと同文

点 鐘 井手富浩 会長

2017～2018年度 2720地区

会員増強部門・新進気鋭会員セミナー報告

加登住 亮

今回の新人研修は約4時間にわたって開催されました。アメリカから始まったロータリークラブの成り立ちや理念、そして地区の現状についての話がありました。

印象に残った点は3つあります。一つ目は、他の団体との大きな違いです。「入りて学び出でて奉仕せよ」の言葉にあります。違いを言うとき「入りて学びの部分があるのがロータリークラブです」というと端的に表せるそうです。二つ目はその歴史です。アメリカで始まったロータリーは、奉仕、ビジネス、学びをどうバランスさせるか試行錯誤の繰り返しだったようです。その中で先ほどの考え方に収斂していく様子も教えていただきました。

一方、日本におけるロータリークラブ発展の大きなきっかけは、関東大震災の発災に続く、世界各国のロータリアンからの援助だったそうです。現在において想像を絶する寄付が寄せられ、大きな力となりました。次は日本が世界のために貢献しなければと活発な活動が始まったようです。

さて、三つめはクラブの活性化です。現在、様々な地区で会員減少が続く中、当地区では増加傾向にあるとのこと。若い世代、女性の会員増加がカギになるとの運動もあり、活性化の第一歩を踏み出せていますとのことでした。

新人にとって最初の数年間にロータリーの活動に一生懸命になれるかが大事ですが、各地のクラブで様々な取り組みをされています。定期的な新人研修や例会でのサポート等があります。しかし、アンケートの結果では残念ながらなかなか馴染めないとの感想も目立っていました。その中で私自身は、多くの先輩方に声をかけていただいて恵まれた環境にあるのだなと実感しましたし、ありがとうございました。

最後になりますが、このような新人研修は学びだけでなく、出会いもあるありがたい研修でした。参加してよかったなと感じさせてもらいました。ありがとうございました。